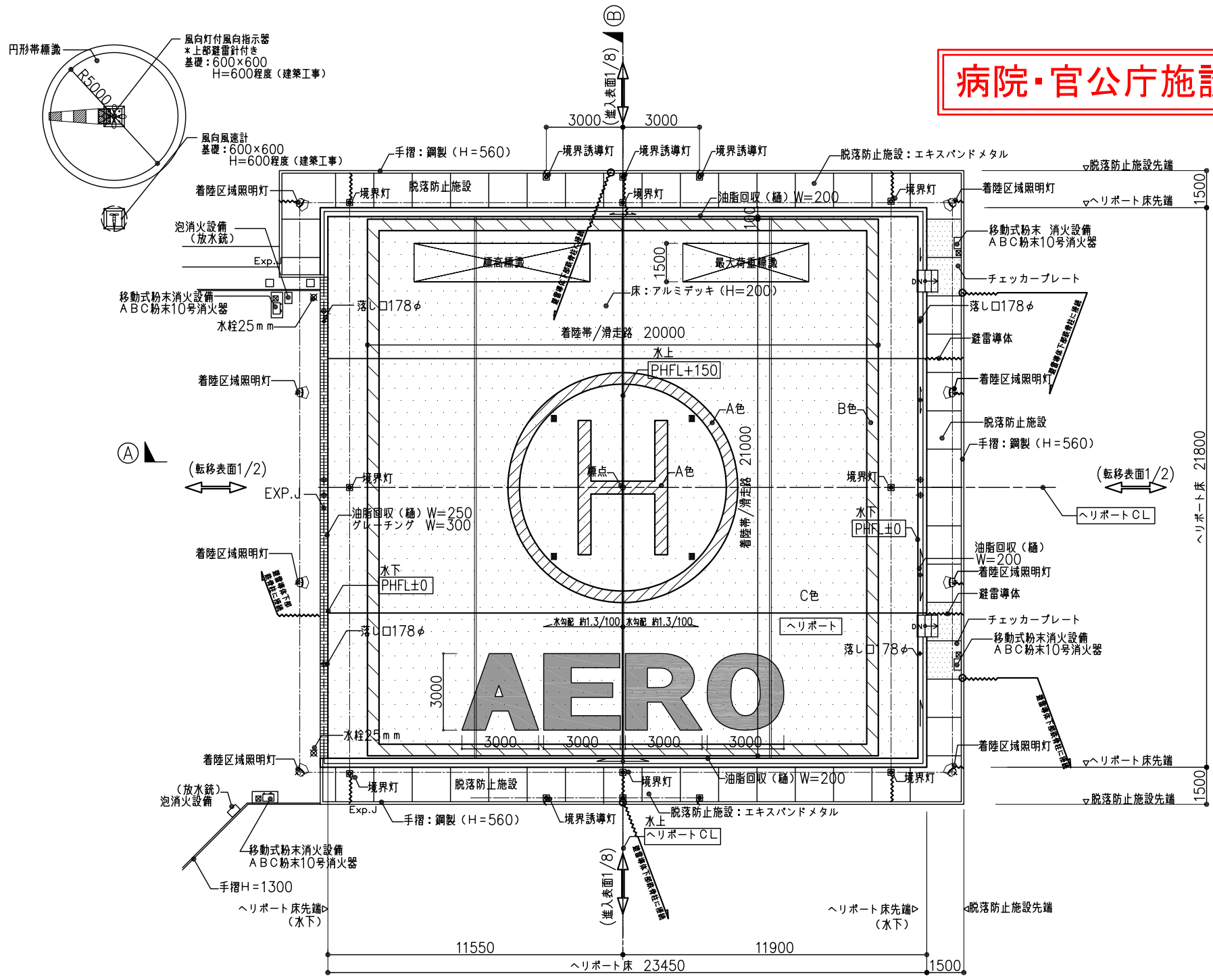


病院・官公庁施設の反復利用



『非共用ヘリポート』 設置基準

1. 離着陸地帯	長さ ……使用機の全長の1.2倍以上 巾 ……使用機の中巾の1.2倍以上 表面 ……十分に平坦、 …………最大縦断勾配 2% …………最大横断勾配 2.5%
2. 進入区域 及び進入表面勾配	構造 ……使用上の運航に十分耐える強度を有するもの 進入表面勾配 ……離着陸方向 1/8 同表面の上に出る高さの物件がないこと。
3. 転移表面	転移表面勾配 …… 1/2 *緩和：片側の勾配を1/10とした場合もう一方の勾配を1/1とする事ができる
4. 水平表面	水平表面範囲 ……半径200m 高さ45m
5. 照明灯	飛行場灯台 ……当該灯火が光源の中心を含む水平面から上方の全ての方向から見えるように設置すること。 風向灯 ……夜間において少なくとも300m上空から風向指示器の指示する方向が明瞭に視認できるような照明を有するものを設置すること。 着陸区域照明灯 ……離着陸地帯の周辺であって、航空機の航行に障害とならない場所に設置すること。 境界灯 ……離着陸地帯の境界線から1.5m以内で15m以下のほぼ等間隔に8個以上設置すること。 境界誘導灯 ……離着陸経路と離着陸地帯の境界線とが交差する付近から6m以内で経路に直交する直線上に離着陸経路に対し対称に3m以下のほぼ等間隔に3灯以上設置すること。
6. 消火設備	泡消火設備 ……放水銃2箇所 移動式粉末消火設備 (半径15m) 消火器 (ABC 10型)
7. その他施設 (推奨)	風向風速計 ……地上からの支援が必要な場合に設置。 監視カメラ ……必要と認められる場合に設置。 (病院ネットワークカメラ) 係留フック ……必要に応じて設置。

避雷設備工事区分表

工事区分の○印は担当工種を示す。

項目	建築	電気
1. デッキ受雷部避雷導体	○	
2. アルミデッキと脱落防止手摺周囲の避雷導体	○	
3. 照明本体取付避雷導体	○	
4. 手摺からの柱脚への接続	○	
5. ヘリポート柱脚から地上へのアース		○
6. 風向指示器避雷針のアース	○	
7. 風向指示器基礎から地上へのアース		○

平面詳細図 1:200

*物件の条件により計画が異なりますので、お問い合わせください。

- 塗装材料
アクリルウレタン系・ノンスリップ塗装
- 塗装工程 ()内00kg/m²は、塗布量を示す
1. 下地ケレン清掃
 2. 下地洗浄
 3. 下塗プライマー(強化コンクリートプライマー 0.18kg/m²+珪砂)
 4. 中・上塗仕上(アクリルウレタン塗装 0.40kg/m²)
 5. 白十字部分 中・上塗仕上(アクリルウレタン塗装 0.40kg/m²)
 6. Hマーク 中・上塗仕上(アクリルウレタン塗装 0.40kg/m²)
 7. 外周ライン 中・上塗仕上(アクリルウレタン塗装 0.40kg/m²)
 8. 文字 中・上塗仕上(アクリルウレタン塗装 0.40kg/m²)
 9. 床面伸縮目地シール

航空灯火等

凡例	名称
	風向灯付風向指示器
	着陸区域照明灯
	境界灯
	境界誘導灯
	風向風速計
	ヘリポート照明制御盤
	監視カメラ

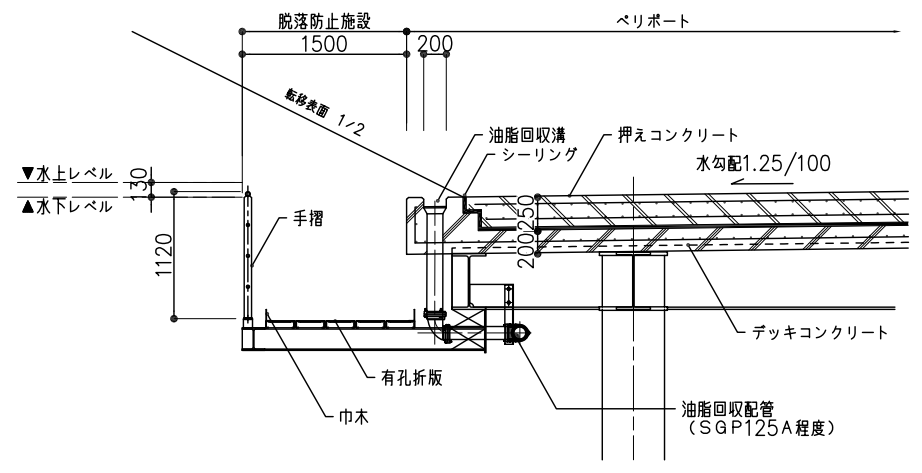
凡例

A色: 白色 (EN95)	
B色: 白色 (EN95)	
C色: ベース色 (協議の上決定)	
文字: 白色 (EN95)	

(日塗工2009年E版)

*遠隔操作パネル、風速計デジタル表示器は防災センターや守衛室に設置
*離着陸経路が180°では無い場合、境界誘導灯は「3灯+5灯」が必要

*施設名称等 表示する場合は、文字高さ3m



断面詳細図 1:5

◎この図は、参考図です。設計条件、周辺環境等により着陸帯の大きさ、仕様等が異なります。この図を利用し問題が生じて弊社も、責任を負いません。

問い合わせ先 TEL: 03-5402-6810 **SAMPLE**